

沖縄建設産業グローバル化事業にてフィジー共和国・トンガ王国の調査渡航

平成 28 年 10 月 14～24 日の期間で、南太平洋のフィジー共和国・トンガ王国へ、新城（技術部長）と若手技術者育成の目的で松田（入社 3 年目）が調査渡航しました。松田は初の海外渡航です。

フィジーへは、沖縄から羽田空港(2 時間 30 分)、羽田空港からオーストラリアのシドニー（8 時間）へ、そこで 5 時間ほどの待ち時間を経てシドニーからフィジーの空港がある都市ナンディー（4 時間）へ到着です。

土曜日の夕方に出発して日曜日の夜に着くという長旅です。

フィジー共和国は人口約 88 万人、首都はスバで四国と同じくらいの面積を持つ国で、大洋州の中では大きな国です。軍事政権でしたが、平成 27 年に国民による選挙で首相が選出され、民政となったことで今後、各国からの支援が増加することが期待されます。

フィジーでは、着いた初日(夜)に 3 年前に JICA 沖縄国際センターに研修にきたネムとその家族に再会し、交流を深めました。

フィジーの離島にある町の浄水場と取水地点を訪問し、現地水道施設が抱えている問題点を調査してきました。

今後は、改善策をレポート化して将来的にはこの浄水場の整備計画に携われることを期待します。

